

# イーストスプリング・ インドネシア債券オープン (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

第59期(決算日 2017年3月21日)  
第60期(決算日 2017年4月18日)  
第61期(決算日 2017年5月18日)  
第62期(決算日 2017年6月19日)  
第63期(決算日 2017年7月18日)  
第64期(決算日 2017年8月18日)

作成対象期間(2017年2月21日～2017年8月18日)

| 第64期末(2017年8月18日)                    |           |
|--------------------------------------|-----------|
| 基準価額                                 | 5,361円    |
| 純資産総額                                | 34,586百万円 |
| 第59期～第64期<br>(2017年2月21日～2017年8月18日) |           |
| 騰落率                                  | 3.2%      |
| 分配金合計                                | 360円      |

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## <閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

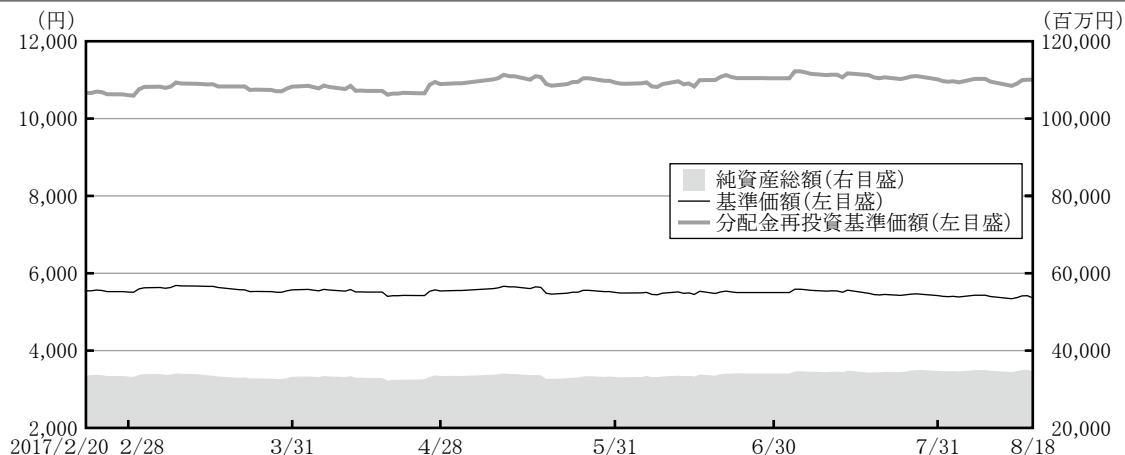
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 基準価額等の推移について(第59期～第64期:2017年2月21日から2017年8月18日まで)



|       |                   |
|-------|-------------------|
| 第59期首 | 5,546円            |
| 第64期末 | 5,361円(既払分配金360円) |
| 騰落率   | 3.2%(分配金再投資ベース)   |

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

上昇要因

・インドネシア債券の価格が上昇したこと。

## 1万口当たりの費用明細

| 項目        | 第59期～第64期<br>2017/2/21<br>～2017/8/18 |         | 項目の概要  |
|-----------|--------------------------------------|---------|--|
|           | 金額                                   | 比率      |  |
| (a) 信託報酬  | 33円                                  | 0.598%  | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率<br>作成期間の平均基準価額は、5,509円です。 |
| (投信会社)    | (12)                                 | (0.210) | 委託した資金の運用の対価   |
| (販売会社)    | (21)                                 | (0.376) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価            |
| (受託会社)    | ( 1)                                 | (0.012) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                              |
| (b) その他費用 | 0                                    | 0.005   | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数                    |
| (監査費用)    | ( 0)                                 | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                          |
| (印刷)      | ( 0)                                 | (0.002) | 目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等                           |
| (その他)     | ( 0)                                 | (0.000) | 余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)                                 |
| 合計        | 33                                   | 0.603   |  |

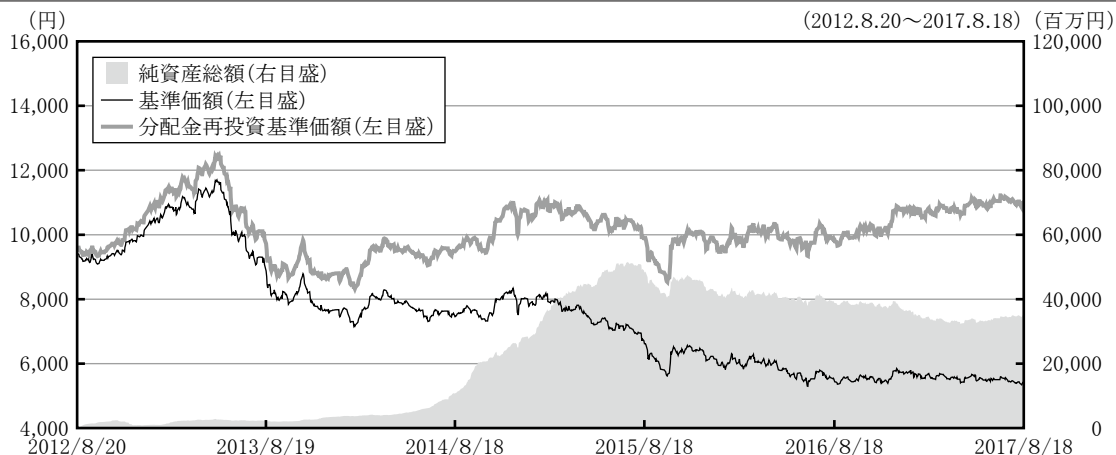
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

| 決算日                | 2012/8/20 | 2013/8/19 | 2014/8/18 | 2015/8/18 | 2016/8/18 | 2017/8/18 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 基準価額 (円)           | 9,396     | 8,876     | 7,456     | 6,618     | 5,462     | 5,361     |
| 期間分配金合計(税引前) (円)   | —         | 700       | 1,170     | 1,200     | 1,120     | 720       |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | —         | 1.3       | △2.4      | 4.2       | △0.4      | 11.8      |
| 純資産総額 (百万円)        | 324       | 2,185     | 10,700    | 48,216    | 38,833    | 34,586    |

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

当作成期において、インドネシア債券は堅調(利回りは低下)となりました。2017年3月の米連邦公開市場委員会(FOMC)では利上げが決定されたものの、緩やかなペースでの利上げ姿勢が示されたことから米国債利回りは低下し、インドネシア債券の利回りも連動して低下(価格は上昇)しました。また、5月には米大手格付け機関のS&Pがインドネシア国債の格付けを投資適格級へ引き上げることを発表し、債券利回りはさらに低下しました。6月末には欧米の中央銀行高官から金融緩和の見直しを示唆する発言が相次ぎ、世界的に金利先高観が高まる中で、インドネシア政府が発表した2017年補正予算案で財政赤字予想が拡大したことから、7月上旬に債券利回りは急上昇(価格は下落)しました。しかし、利回り上昇局面ではインドネシア国内投資家の積極的な買いが見られました。

### ○為替市況

米大手格付け機関S&Pが財政赤字拡大のリスクが低下したことなどを背景にインドネシア国債を投資適格級に格上げしたことなどを好感し、インドネシアルピアは対米ドルでは狭い値幅ながらも底堅い推移となりました。一方、対円ではルピア安となりました。米国の好調な経済指標を受けて円安米ドル高となる局面もみられたものの、朝鮮半島を巡る地政学リスクの高まりやトランプ政権に対する不透明感から当作成期末にかけては円高が進行しました。

### ○国内債券市況

日本国債市場は日銀によるイールドカーブ・コントロール政策により、狭い値幅での推移となりました。2017年3月は米国の利上げ観測の高まりを背景とした米国債の利回り上昇に連動して日本国債の利回りもやや強含み(価格は下落)しましたが、4月には地政学リスクの高まりを受けて利回りは低下(価格は上昇)しました。7月には米欧金利の上昇から日本国債市場も利回りの上昇余地を試す展開となりましたが、その後は北朝鮮情勢の緊張から再び利回りは低下しました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド(以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### ○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主として、インドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リターンを最大化を目指して運用を行いました。当作成期はインドネシアの債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

| 項目            | 第59期                      | 第60期                      | 第61期                      | 第62期                      | 第63期                      | 第64期                      |
|---------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|               | 2017年2月21日<br>～2017年3月21日 | 2017年3月22日<br>～2017年4月18日 | 2017年4月19日<br>～2017年5月18日 | 2017年5月19日<br>～2017年6月19日 | 2017年6月20日<br>～2017年7月18日 | 2017年7月19日<br>～2017年8月18日 |
| 当期分配金 (円)     | 60                        | 60                        | 60                        | 60                        | 60                        | 60                        |
| (対基準価額比率) (%) | 1.065                     | 1.098                     | 1.082                     | 1.084                     | 1.083                     | 1.107                     |
| 当期の収益 (円)     | 35                        | 32                        | 35                        | 32                        | 33                        | 30                        |
| 当期の収益以外 (円)   | 24                        | 27                        | 24                        | 27                        | 26                        | 29                        |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 637                       | 609                       | 585                       | 559                       | 533                       | 504                       |

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) ー印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドへの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

インドネシアの2017年4－6月期の実質GDP成長率は、政府支出の鈍化や民間設備投資の低迷などを背景に前年同期比＋5.0%と市場予想を下回りました。しかし、7月末に成立した2017年補正予算では政府支出の増加から対GDP比の財政赤字予想が当初の2.4%から2.9%に拡大し、財務相が年後半の歳出執行を加速する姿勢を示していることなどから景気回復が期待されます。また、米国は金融政策の正常化を緩やかに進め、欧州中央銀行(ECB)も段階的に資産購入を縮小するとみられ、新興国からの急激な資金流出のリスクは低いと予想しています。魅力的な利回り水準に加え、インドネシア中央銀行(BI)の巧みな通貨政策と潤沢な外貨準備を背景に通貨ルピアは安定的に推移しており、インドネシア債券市場の投資環境は良好とみています。市場の変動局面では機動的にデュレーションをコントロールし、市場を取り巻くリスクに注意を払い運用を行っていく方針です。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

日銀の金融緩和を背景に今後も日本国債の利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場では市場の流動性が低下しており、海外金利の動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1－10年債)を上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## お知らせ

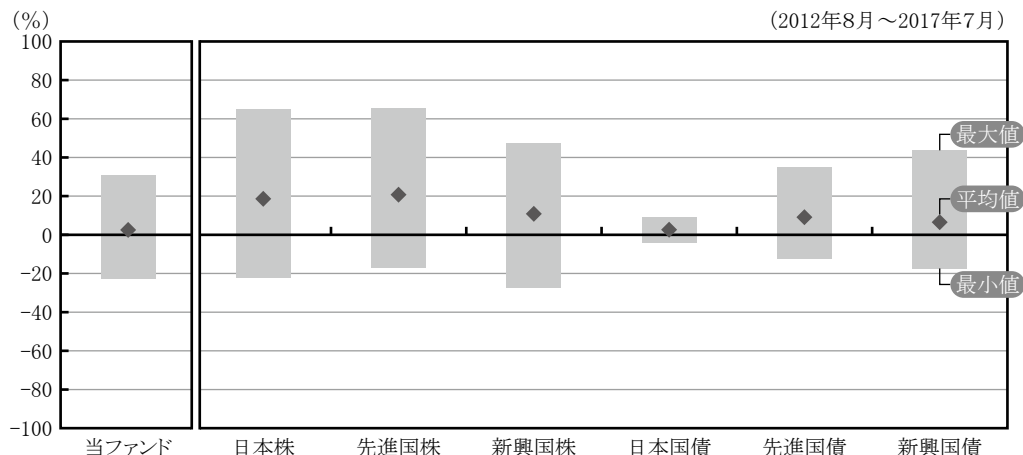
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

|        |  |
|--------|--|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／債券  |
| 信託期間   | 原則として無期限(2012年2月29日設定)   |
| 運用方針   | 投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。  |
| 主要投資対象 | 外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。       |
| 運用方法   | 以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul> |
| 分配方針   | 毎決算時(毎月18日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。   |

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



| (%) | 当ファンド | 日本株   | 先進国株  | 新興国株  | 日本国債 | 先進国債  | 新興国債  |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 平均値 | 2.5   | 18.6  | 20.8  | 10.8  | 2.6  | 9.1   | 6.5   |
| 最大値 | 30.6  | 65.0  | 65.6  | 47.3  | 9.3  | 34.9  | 43.7  |
| 最小値 | -23.0 | -22.0 | -17.1 | -27.5 | -4.0 | -12.3 | -17.4 |

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年8月から2017年7月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2012年2月29日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2013年2月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

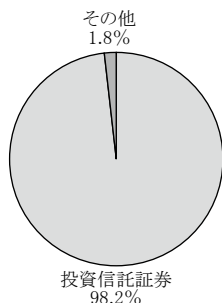
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

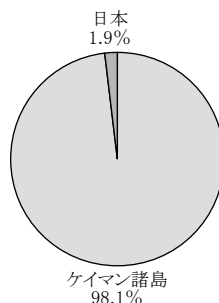
| ファンド名                                   | 第64期末<br>2017年8月18日 |
|---|---------------------|
| イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド | 98.1%               |
| イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)  | 0.1%                |

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

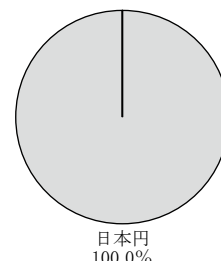
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

| 項目         | 第59期末<br>2017年3月21日 | 第60期末<br>2017年4月18日 | 第61期末<br>2017年5月18日 | 第62期末<br>2017年6月19日 | 第63期末<br>2017年7月18日 | 第64期末<br>2017年8月18日 |
|------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 純資産総額      | 32,957,985,090円     | 32,251,281,096円     | 32,686,821,579円     | 33,514,400,915円     | 34,317,652,513円     | 34,586,762,154円     |
| 受益権総口数     | 59,128,493,650口     | 59,683,132,607口     | 59,592,482,047口     | 61,190,593,482口     | 62,620,496,438口     | 64,518,576,927口     |
| 1万口当たり基準価額 | 5,574円              | 5,404円              | 5,485円              | 5,477円              | 5,480円              | 5,361円              |

\* 当作成期中(第59期～第64期)において追加設定元本額は13,175,513,665円、一部解約元本額は9,131,554,912円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

#### ○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2016年1月1日～2016年12月31日)



#### ○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

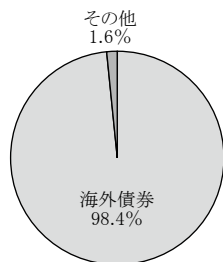
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

#### ○組入上位10銘柄(組入銘柄数:35銘柄)

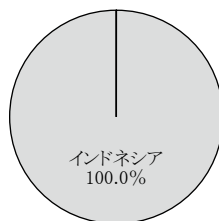
(2016年12月31日現在)

|    | 銘柄名                  | 種別 | 利率     | 償還日       | 国・地域   | 比率    |
|----|----------------------|----|--------|-----------|--------|-------|
| 1  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.375% | 2024/3/15 | インドネシア | 11.7% |
| 2  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.375% | 2026/9/15 | インドネシア | 8.1%  |
| 3  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.250% | 2021/7/15 | インドネシア | 8.0%  |
| 4  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.375% | 2034/3/15 | インドネシア | 7.2%  |
| 5  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 9.000% | 2029/3/15 | インドネシア | 7.1%  |
| 6  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 7.875% | 2019/4/15 | インドネシア | 4.8%  |
| 7  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.750% | 2031/5/15 | インドネシア | 4.5%  |
| 8  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.250% | 2036/5/15 | インドネシア | 4.0%  |
| 9  | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 8.250% | 2032/6/15 | インドネシア | 3.2%  |
| 10 | INDONESIA GOVERNMENT | 国債 | 6.625% | 2033/5/15 | インドネシア | 3.0%  |

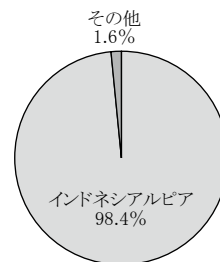
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。  
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

#### ○基準価額の推移

(2016年2月26日～2017年2月27日)



#### ○1万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2017年2月27日)

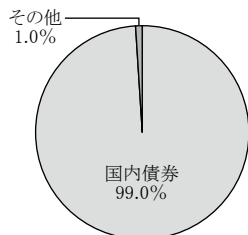
| 項目        | 金額   | 比率      |
|-----------|------|---------|
| (a) 信託報酬  | 24円  | 0.217%  |
| ( 投信会社)   | (15) | (0.141) |
| ( 販売会社)   | ( 2) | (0.022) |
| ( 受託会社)   | ( 6) | (0.054) |
| (b) その他費用 | 6    | 0.052   |
| ( 監査費用)   | ( 6) | (0.051) |
| ( その他)    | ( 0) | (0.000) |
| 合計        | 30   | 0.269   |

#### ○組入上位10銘柄(組入銘柄数:21銘柄)

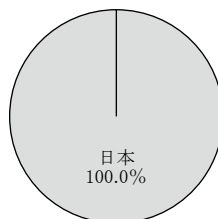
(2017年2月27日現在)

|    | 銘柄名            | 種別 | 利率   | 償還日        | 国・地域 | 比率   |
|----|----------------|----|------|------------|------|------|
| 1  | 第285回利付国債(10年) | 国債 | 1.7% | 2017/3/20  | 日本   | 9.8% |
| 2  | 第80回利付国債(20年)  | 国債 | 2.1% | 2025/6/20  | 日本   | 8.4% |
| 3  | 第87回利付国債(20年)  | 国債 | 2.2% | 2026/3/20  | 日本   | 8.1% |
| 4  | 第63回利付国債(20年)  | 国債 | 1.8% | 2023/6/20  | 日本   | 6.9% |
| 5  | 第48回利付国債(20年)  | 国債 | 2.5% | 2020/12/21 | 日本   | 6.8% |
| 6  | 第311回利付国債(10年) | 国債 | 0.8% | 2020/9/20  | 日本   | 6.4% |
| 7  | 第67回利付国債(20年)  | 国債 | 1.9% | 2024/3/20  | 日本   | 6.3% |
| 8  | 第69回利付国債(20年)  | 国債 | 2.1% | 2024/3/20  | 日本   | 5.7% |
| 9  | 第53回利付国債(20年)  | 国債 | 2.1% | 2021/12/20 | 日本   | 5.4% |
| 10 | 第47回利付国債(20年)  | 国債 | 2.2% | 2020/9/21  | 日本   | 5.3% |

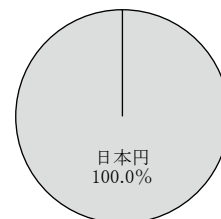
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。  
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メルリンチは、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。